

宮原地区歩行者デッキ基本・実施設計・監理

所在地： 埼玉県さいたま市北部拠点宮原地区
発注者： 埼玉県さいたま市
期間： 2002～2004
延長： 52.4m
幅員： 6.8m
橋梁形式： 3径間ラーメン鋼床版箱桁
業務概要： 修景設計
デザイン監理
設計内容： 舗装、シェルター、高欄、デッキ柵
カバー、エレベーター塔外装、
階段意匠、照明器具設計、橋名板

平成12年に策定された「公共空間デザイン指針」の中で、北部拠点内でも特に歩行者の賑わいが想定される二つの街区を繋ぐ、歩行者デッキの設置が検討されていた。

基本設計ではデッキ検討委員会による検討がなされた。委員会には、土木、建築の専門家に加えて、障害者団体、「まちづくり協議会」、行政からも委員を迎え、多方面からの、景観、構造、意匠、ユニバーサル・デザインに関わる意見が出され、基本設計上の合意事項として報告書にまとめられた。

ユニバーサル・デザインの観点から、歩行者デッキ全幅員にシェルターを架けること、街区側の施設からも出来る限り同じデザインのデッキを接続することなどが、委員会で合意された主要な内容である。

上記委員会での合意に基づく実施設計は、平成16年3月に完了した。その後、現場のデザイン監理を行い、平成17年3月に竣工している。

写真 ©三輪晃久写真研究所





- | | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |

1. 歩行者デッキ全景
2. 歩行者デッキ通路部
3. 通路部ルーバー屋根見上げ
4. 通路部ルーバーと木床
©三輪晃久写真研究所